



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月13日

上場会社名 京極運輸商事株式会社

上場取引所

東・名

コード番号 9073

URL <http://www.kyogoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北山 剛規

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 枝元 純広

TEL 03-5825-7143

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,274	1.0	56	△2.6	87	0.8	35	△39.3
2026年3月期第1四半期	2,251	8.4	57	24.5	87	4.8	57	△0.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △21百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 14百万円(△97.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	12.46	—
2026年3月期第1四半期	19.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	8,954	4,628	51.4	1,646.94
2026年3月期	8,929	4,682	52.2	1,666.38

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 4,603百万円 2026年3月期 4,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,583	2.6	116	△26.5	140	△29.1	83	△37.1	29.78
通期	9,061	4.1	146	△10.7	176	△27.8	108	△37.2	38.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	2,794,662株	2026年3月期	2,794,662株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	一株	2026年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	2,794,662株	2026年3月期1Q	2,874,701株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景にした個人消費の持ち直しや企業の設備投資の増加の動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調の動きが見られる一方、中東情勢の緊迫化による原油価格の高騰、円安の進行に伴う物価上昇、エネルギーコストや原材料価格の高止まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては、自動車運転業務に対する時間外労働上限規制等への対応が継続するなか、ドライバー不足への対応、外注費・人件費・燃料費等のコスト上昇圧力、安全確保と輸送力維持の両立、適正運賃・料金の收受など、厳しい経営課題への対応を迫られており、また、荷動きは需要産業の生産動向の影響を受けやすく、事業環境は総じて厳しい状況で推移しております。

このような状況下、当社グループでは、中東情勢の緊迫化による物流の停滞の影響を受け、国際物流事業における取扱数量の減少は継続しているものの、国内輸送事業を中心とした価格改定、新規案件の獲得、スポット配送の増加に加え、ドラム缶・ペール缶事業における更生缶販売が好調であることから、売上高は2,274百万円と前年同四半期に比べ23百万円(1.0%)の増収となりました。

損益面につきましては、営業利益は56百万円と前年同四半期と比べ1百万円(△2.6%)の減益、経常利益は87百万円と前年同四半期と比べ1百万円(0.8%)の増益となりました。しかし、持分法適用関連会社である株式会社弥生京極社の株式の売却に伴う法人税等の増加により、親会社株主に帰属する四半期純利益は35百万円と前年同四半期と比べ23百万円(△39.3%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(イ) 国内輸送事業

車両修繕費用の増加はあったものの、価格改定、新規案件の獲得、スポット配送の増加により、増収・増益となりました。結果として、売上高は1,026百万円と前年同四半期と比べ44百万円(4.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は100百万円と前年同四半期と比べ16百万円(19.3%)の増益となりました。

(ロ) 国際物流事業

倉庫部門における輸出入貨物の取扱数量の減少はあったものの、通関部門の欧州向け製品の取り扱い数量の増加及び新規製品の取り扱いにより、増収・増益となりました。結果として、売上高は152百万円と前年同四半期と比べ1百万円(0.9%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は33百万円と前年同四半期と比べ4百万円(13.2%)の増益となりました。

(ハ) ドラム缶・ペール缶事業

ドラム缶販売部門においては、産廃用・化学品用の更生缶販売が好調であったものの、ドラム缶配送部門において、新缶の輸送数量が減少したことにより、事業全体で増収・減益となりました。結果として、売上高は734百万円と前年同四半期と比べ84百万円(12.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は25百万円と前年同四半期と比べ3百万円(△12.1%)の減益となりました。

(ニ) エネルギー事業

石油販売においては、取扱数量が減少したことにより、減収・減益となりました。結果として、売上高は227百万円と前年同四半期と比べ31百万円(△12.0%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は0百万円と前年同四半期と比べ△3百万円(－%)の減益となりました。

(ホ) タンク洗浄事業

工事受注件数の減少により、減収・減益となりました。結果として、売上高は135百万円と前年同四半期と比べ75百万円(△35.8%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は11百万円と前年同四半期と比べ19百万円(△62.2%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ25百万円増加し、8,954百万円となりました。これは、投資有価証券が減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産、リース資産の増加によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ80百万円増加し、4,326百万円となりました。これは、賞与引当金の減少はあったものの、未払費用の増加によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ55百万円減少し、4,628百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月14日に公表した業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,293,817	1,228,393
受取手形、売掛金及び契約資産	1,212,796	1,370,476
商品	10,654	6,242
原材料及び貯蔵品	25,703	25,334
半成工事	12,942	38,629
その他	186,180	233,148
流動資産合計	2,742,093	2,902,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,535,078	3,535,298
減価償却累計額	△2,795,506	△2,806,713
建物及び構築物（純額）	739,573	728,586
機械及び装置	389,364	389,364
減価償却累計額	△337,948	△339,624
機械及び装置（純額）	51,415	49,739
車両運搬具	2,797,021	2,766,949
減価償却累計額	△2,566,036	△2,542,554
車両運搬具（純額）	230,984	224,396
土地	1,588,549	1,601,772
リース資産	1,415,937	1,521,279
減価償却累計額	△463,415	△511,649
リース資産（純額）	952,523	1,009,629
建設仮勘定	—	1,850
その他	117,933	118,138
減価償却累計額	△97,340	△97,861
その他（純額）	20,593	20,277
有形固定資産合計	3,583,638	3,636,249
無形固定資産		
ソフトウェア	8,039	7,398
ソフトウェア仮勘定	27,710	42,770
その他	7,106	7,100
無形固定資産合計	42,855	57,267
投資その他の資産		
投資有価証券	2,393,310	2,192,741
繰延税金資産	1,032	1,035
その他	165,734	164,364
投資その他の資産合計	2,560,075	2,358,139
固定資産合計	6,186,568	6,051,656
資産合計	8,928,661	8,953,877

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	757,939	792,420
短期借入金	825,500	824,000
リース債務	248,433	259,100
未払費用	228,121	432,133
未払法人税等	53,307	29,625
賞与引当金	190,062	58,920
その他	149,446	125,536
流動負債合計	2,452,807	2,521,734
固定負債		
リース債務	808,670	867,061
退職給付に係る負債	640,794	607,834
資産除去債務	53,317	53,435
繰延税金負債	278,521	264,471
その他	12,407	11,714
固定負債合計	1,793,709	1,804,516
負債合計	4,246,516	4,326,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	4,995	4,995
利益剰余金	3,416,402	3,417,680
株主資本合計	3,471,397	3,472,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,187,658	1,132,109
退職給付に係る調整累計額	△2,075	△2,136
その他の包括利益累計額合計	1,185,583	1,129,973
非支配株主持分	25,165	24,980
純資産合計	4,682,145	4,627,627
負債純資産合計	8,928,661	8,953,877

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,250,996	2,273,987
売上原価	2,042,595	2,065,989
売上総利益	208,401	207,998
販売費及び一般管理費		
販売費	5,595	5,618
一般管理費	145,665	146,699
販売費及び一般管理費合計	151,260	152,317
営業利益	57,142	55,681
営業外収益		
受取利息	408	407
受取配当金	38,286	39,505
営業車両売却益	1,182	1,909
補助金収入	12	3
軽油引取税交付金	678	667
その他	1,032	1,663
営業外収益合計	41,598	44,155
営業外費用		
支払利息	8,084	11,369
持分法による投資損失	2,524	—
支払手数料	500	436
その他	1,131	798
営業外費用合計	12,240	12,604
経常利益	86,500	87,232
特別利益		
関係会社株式売却益	—	3,705
特別利益合計	—	3,705
税金等調整前四半期純利益	86,500	90,938
法人税等	28,524	55,819
四半期純利益	57,977	35,118
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	57,349	34,814
非支配株主に帰属する四半期純利益	628	304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,921	△30,049
退職給付に係る調整額	△2,446	△61
持分法適用会社に対する持分相当額	△13,774	△25,860
その他の包括利益合計	△44,141	△55,970
四半期包括利益	13,836	△20,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,323	△20,796
非支配株主に係る四半期包括利益	513	△56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社である株式会社弥生京極社の全株式を売却したため、同社を持分法適用の範囲から除外しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					合計
	国内輸送 事業	国際物流 事業	ドラム缶・ ペール缶 事業	エネルギー 事業	タンク洗浄 事業	
売上高						
貨物自動車運送	975,043	—	—	—	—	975,043
港湾運送及び通関	—	43,840	—	—	—	43,840
倉庫	—	107,130	—	—	—	107,130
ドラム缶販売	—	—	468,964	—	—	468,964
ドラム缶配送	—	—	181,833	—	—	181,833
石油販売	—	—	—	257,399	—	257,399
タンク洗浄	—	—	—	—	210,210	210,210
顧客との契約から生じる収益	975,043	150,970	650,797	257,399	210,210	2,244,419
その他の収益	6,577	—	—	—	—	6,577
外部顧客への売上高	981,620	150,970	650,797	257,399	210,210	2,250,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,784	1,530	—	54,200	—	57,514
計	983,404	152,500	650,797	311,600	210,210	2,308,510
セグメント利益	83,479	29,221	28,036	1,626	29,877	172,239

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	172,239
セグメント間取引消去	△39
全社費用(注)	△115,058
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	57,142

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	国内輸送 事業	国際物流 事業	ドラム缶・ ペール缶 事業	エネルギー 事業	タンク洗浄 事業	
売上高						
貨物自動車運送	1,018,490	—	—	—	—	1,018,490
港湾運送及び通関	—	45,832	—	—	—	45,832
倉庫	—	106,467	—	—	—	106,467
ドラム缶販売	—	—	546,607	—	—	546,607
ドラム缶配送	—	—	187,701	—	—	187,701
石油販売	—	—	—	226,581	—	226,581
タンク洗浄	—	—	—	—	134,983	134,983
顧客との契約から生じる収益	1,018,490	152,299	734,307	226,581	134,983	2,266,661
その他の収益	7,327	—	—	—	—	7,327
外部顧客への売上高	1,025,817	152,299	734,307	226,581	134,983	2,273,987
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,827	1,530	—	55,074	—	58,431
計	1,027,644	153,829	734,307	281,655	134,983	2,332,419
セグメント利益又は損失(△)	99,585	33,091	24,632	△468	11,296	168,135

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	168,135
セグメント間取引消去	△112
全社費用(注)	△112,342
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	55,681

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	90,051千円	86,480千円